

# 常 (目標・努力・発見)

平成31年4月10日  
北方町立北方中学校  
学校だより 第1号

## 日常生活における自分づくりを大切に

1年生のみなさん、入学おめでとうございます。2年生、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。いよいよ新年度のスタートです。また、4月1日には新元号となる「令和」が発表され、新たな元号がスタートとなる新年度でもあります。

みなさんは、どんな思いでいるでしょうか。新学年となりやる気に満ちた人が多いことでしょう。でも、中には不安なことや心配なことがある人もいることでしょう。新1年生180名、2年生177名、3年生181名のみなさんを無事、進級・進路実現させるために全職員が一丸となって頑張る気持ちでいます。

でも、それはみなさん一人一人の営みがあってはじめてできるのです。まず、「どんな自分になるのか」という目標をもってください。目標は自分で決めるものです。そのためにも、「自分はどんな自分なのか」を今一度見つめ直し、その上で、「どんな自分になるのか」という目標を決めてください。目標を決めたら次はその実現のために何か一つのことを日々、努力し続けてほしいと思います。目標を実現するのは簡単なことではありません。その過程の中で「どうしたらできるんだろう」と悩んだり、「明日やればいいや」と逃げてしまったり、「自分には無理だ」と思ってしまったり、「誰かのせいで…」と人のせいにして、色々悩み、苦しむことがあります。でも、これはみんな同じことなのです。でも、それを乗り越えた時にはじめて新たな自分の良さを発見できるのだと思います。この自分の良さを発見こそ、これから自分自身が生きていく糧（かて）となっていくのです。私は、この営みのことを「目標・努力・発見」と呼んでいます。

この営みを実現していくために、次の3つのキーワードを大切にしてください。

一つ目は、「常」という言葉です。この言葉には、日常生活を大切にしてほしいという願いが込められています。行事だけ頑張る、部活動だけ頑張る、先生の前だけ頑張る、そんな生徒ではなく、「目標・努力・発見」の営みを日々、継続し続けることが大切だということです。そういったみなさんの地道に取り組む「常」の姿を保護者の方や地域の方、また、それ以外の多くの方々に紹介していきます。

二つ目は、「みんなちがって、みんないい」（金子みすずさんの「わたしと小鳥と鈴と」という詩より一部抜粋）という言葉です。人は、考えていること、悩んでいること、家庭、過去の生い立ちなどみんな違うのです。でもそれは決して駄目なことではなく、素晴らしいことなのです。一人一人に個性があり、考えがあり、夢があるのです。北方中学校の生徒はみんな同志です。お互いの目標や努力を理解し合い、尊重し合い、共に助け合いながらみんなで一人一人の目標が実現できるようにしてください。

三つ目は、「北方愛」です。みなさんも、ここ北方町に何年間か集い、ともに学んだ一人として、将来、どこに住むか、どこで働くか分かりませんが、いつまでもこの素晴らしい町「北方町」にいたことを誇りとして、生きていってほしいと思います。

校長 宮部 寿

## 【職員紹介】

校長	宮部 寿
教頭	川瀬 和弘
教頭	北村 あずさ
主幹教諭	栗本 光彰
教務主任	野崎 国芳
生徒指導	植田 一弥
養護教諭	鷺見 裕子
事務職員	古田 美佐子
校務員	島影 由加里
学校司書	下條 真里子
スクールハートサポーター	小宮 朋子
特別支援教育アシスタント	今村 直子
非常勤講師(学習補助)	白田 康子
業務改善アシスタント	寺尾 久乃
A L T	クリス ブロウズ
スクールカウンセラー	井口 愛(木曜勤務)
初任者指導員	中川 敏彦(月・金勤務)

## ◆1年生職員

学年主任	金長 政之
1組	鎗山 卓万
2組	五十川 恭平
3組	川島 尚代
4組	寺内 政治郎
5組	渡邊 彩乃
6組	末廣 純成
かがやき1組	榎本 佳
学年所属	伊藤 有里
	寺西 千明

## ◆2年生職員

学年主任	西田 佑介
1組	大橋 久徳
2組	高橋 奈央
3組	永井 孝直
4組	五藤 良典
5組	船戸 菜摘
かがやき3組	梅田 和将
学年所属	長尾 千皓
	山本 チャム

## ◆3年生職員

学年主任	大平 好秀
1組	渡邊 拓真
2組	常川 智子
3組	吉武 雄一
4組	川瀬 雄太
5組	棚瀬 彩香
かがやき2組	新谷 航平
通級指導	長澤 恵理子
学年所属	菱田 隼也
	松野 玲子



## <保護者の皆様へ>

お子様のご入学、ご進学、誠におめでとうございます。

私たち教職員一同、お子様の一人一人を大切にしながら、子どもたちが決めた「目標」の実現にむけ、努力する姿や心に寄り添いながら共に歩み、たくましく生き抜いていく子を育てたいと願っております。しかし、学校だけではできない所がございますので、ご家庭でもお子様の「目標」の実現に向け、ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。今後とも学校と家庭とが連携を密に図っていくことが大切だと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、何かお困りのことがございましたら学校へご相談ください。【学校 324-3175】